

11月16日 №1513
2020年(令和2年)
週刊 月曜発行
発行人 河村 勝志
平成元年9月22日 第3種郵便物承認
購読料 年間 22,900円+税
(定価) 1部本体 495円+税

循環経済新聞

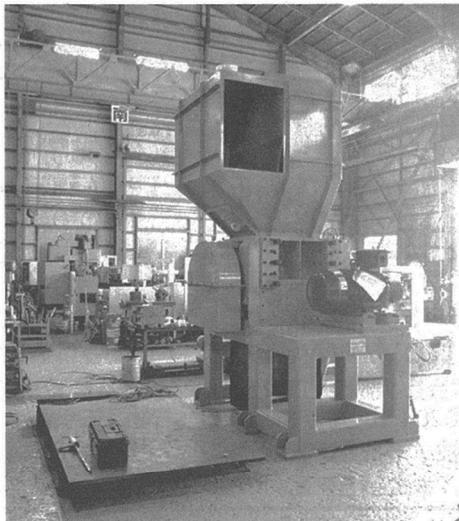
JUNKAN KEIZAI The Recycling Economy Times

(7) 2020年(令和2年)11月16日(月曜日)

週刊循環経済新聞

第1513号

(第3種郵便物承認)



今後積極的に販売していく

エムダイヤ

環境機器の製造・販
売を展開するエムダイ
ヤ(富山県滑川市、森

弘吉社長、☎076・
476・0062)

自社で展開する切断機
や破碎機について光フ
アイバーケーブルの処
理に対応している。「埋
立処分ではなくリサイ
クルしたい」という顧

客の要望や5G化によ
る光フアイバーケーブ
ルの問い合わせの増加
を受けて対応を強化し
ている。

対応機種は、「エコセ
パレ® 分離・破碎機」

対応機種では、重量
比換算で95%の分離率
を達成した。分離工程
に独自方式を採用して
いるため、刃の耐久性
が高く、多くの光フア
イバーケーブルを処理

光フアイバーケーブルを処理

顧客のリサイクル需要に対応

「エコカッターシリ
ーズ(切断機)」「エコル
ープカッター®(切断機)

の各機種で、エコセパ
レ®は樹脂等の柔らか
い物質と鉄芯等の硬い
物質を分離することができ

ることが可能だ。
光フアイバーケーブルは、異なる素材が混
合しているため、分離
が難しく、埋立処分さ
れることが多かった。
同社と取引がある顧客
企業からもリサイクル
を望む声が多くたと
いう。

そうした要望を受け
て実証試験を開始。当
初は、ケーブルの種類
が多く、分離・破碎に
対応させるのに苦慮し
たという。試行錯誤を
重ねる中で課題を克服
し、技術の確立に至つ
た。

今後は、光フアイバ
ーケーブルのリサイク
ルを行っている事業者
に対して積極的に販売
していく方針だ。